

平成24年度収支予算

〈支出の部〉		〈収入の部〉	
科目	金額	科目	金額
事業費	¥28,400,000	市場運営営業収入	¥9,640,000
市場運営	¥4,800,000	交換会受取手数料	¥2,695,000
共同販売事業費	¥22,000,000	共同販売事業	¥25,000,000
教育情報費	¥1,500,000	賦課金収入	¥2,800,000
事業運営費	¥100,000	事業外収入	¥2,800,000
一般管理費	¥11,735,000	合計	¥40,135,000
職員給料手当	¥6,000,000		
事務消耗品	¥1,000,000		
通信費	¥900,000		
旅費交通費	¥580,000		
会議費	¥30,000		
水道光熱費	¥145,000		
諸会費	¥300,000		
支払手数料	¥800,000		
福利厚生費	¥250,000		
広報宣伝費	¥255,000		
管理費	¥50,000		
雑費	¥500,000		
租税公課	¥75,000		
合計	¥40,135,000	合計	¥40,135,000

平成24年度収支予算

〈支出の部〉		〈収入の部〉	
科目	金額	科目	金額
交換会運営費(会場費・手当・食事代他借入れ利息)	¥4,800,000	市場運営営業収入	¥9,640,000
大刀剣市開催費用(会場設営・全国紙広告代・カタログ作成等)	¥22,000,000	交換会受取手数料	¥2,695,000
組合新聞発行(刀剣界・全刀商誌)他	¥1,500,000	共同販売事業	¥25,000,000
総会、他の事業費	¥100,000	賦課金収入	¥2,800,000
職員給与と他 人件費等	¥6,000,000	事業外収入	¥2,800,000
リース料・カウンター・事務消耗品等	¥1,000,000	合計	¥40,135,000
インターネット・TEL・携帯・宅配・メール・電報	¥900,000		
定期代他・査定交通費・運搬交通駐車場費等	¥580,000		
理事会、委員会他	¥30,000		
渉外関係	¥100,000		
ガス・水道・電気	¥145,000		
関係団体	¥300,000		
顧問料(経理士・司法書士)	¥800,000		
社会保険料・労働保険料他	¥250,000		
組合ホームページ	¥255,000		
慶弔費	¥50,000		
スライブラザ(組合)	¥500,000		
アルソック警備費他	¥75,000		
諸税金・印紙	¥750,000		

第二十五回通常総会は五月十七日、東京美術倶楽部において開催された。

第二十五回通常総会を開催

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



出席数は委任状を含め二百二十九。猿田副理事長の開会の辞に始まり、深海理事長が挨拶、続いて同理事長が議長に選任され各議案の審議に入った。議案は下記の通りで、すべてが可決された。

- 〈第一号議案〉平成二十三年度事業報告並びに平成二十三年度会計報告
- 〈第二号議案〉平成二十四年度事業計画
- 〈第三号議案〉平成二十四年度収支予算
- 〈第四号議案〉役員報酬の件
- 〈第五号議案〉経費の賦課及び徴収に関する件
- 〈第六号議案〉平成二十四年度借入金残高の最高限度に関する件
- 〈第七号議案〉一組員に対する貸し付け、または一組員の債権保証の残高の最高限度額に関する件

日刀保と刀文協が会談

五月十八日、東京都内の会場において、日本美術刀剣保存協会(日刀保)と日本刀文化振興協会(刀文協)の両公益財団法人首脳による懇談会が開かれました。

日刀保からは小野裕会長・柴原勤専務理事・福本富雄常務理事・後藤安孝事務局長、刀文協からは河端昭孝特別顧問・高山一之理事・小野博理事・倉持正理事のそれぞれ四名が出席しました。

また、刀剣界の一翼を担う当組合にもオブザーバーとして出席の要請があり、深海理事長・冥賀理事・服部理事が参加しました。もしかして刀剣界の歴史の瞬間が訪れるかもしれないと期待しつつ、会談の推移を見守

りました。まず日刀保・小野会長より、本日参集した意義が確認され、「今後、日刀保・刀文協・刀剣商組合が手を携え、三位一体となって、厳しい状況にある刀剣界の活性化を図っていきましょう」との提言がありました。



第一回の懇談会は、最後に小野会長と河端特別顧問が握手を交わし、一時間ほどで終了しました。(服部 暁治)

なお、第八号議案「その他」について議場に意見を求めたところ、町田久雄組員より「組合の創立二十五周年を機に、当組員の中より社会貢献、また組合への貢献尽力をされた方々に、関係官庁より表彰がなされるように取り計らってほしい」と、佐藤均組員より「関西方面での大刀剣市開催を希望する」との意見が出され、深海理事長より「諸々の問題点や困難は多々あるが、執行部として前向きに検討していきたい」との回答がなされた。

以上をもって議事は滞りなく終了し、土肥副理事長より閉会の辞が述べられ散会となった。(飯田慶雄)

2012.7.15 VOL.6

発行人 深海 信彦
 発行所 全国刀剣商業協同組合
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
 新宿スカイプラザ1302
 TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
 http://www.zentosho.com

編集委員 朝倉 忠 飯田 慶久 飯田 恒孝
 伊波 賢一 大平 隆 齋藤 清 齋藤 清
 齋藤 隆久 齋藤 正 齋藤 正 齋藤 正
 齋藤 生野 齋藤 民夫 齋藤 民夫 齋藤 民夫
 藤岡 士子 藤岡 弘吉 藤岡 弘吉 藤岡 弘吉
 藤岡 冥賀 藤岡 吉也 藤岡 吉也 藤岡 吉也

美術刀剣・刀装小道具商

やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」
 年間10回発行予定
 購読料10回 2,000円(郵便切手可)

刀剣・刀装小道具高価買入

〒202-0022
 西東京市柳沢6-8-10
 TEL 042-463-5310
 FAX 042-463-7955

営業時間 午前9時~午後6時
 定休日 毎日曜日・祝日

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

柳匠堂

柳村宗寿

工房

〒700-0827 岡山市北区平和町二一八
 電話(086)233-1231
 〒700-0826 岡山市北区磨屋町七二二
 電話・FAX(086)233-1232

甲冑 刀剣 刀装具 古美術一般

福隆美術工芸

代表 網取譲一

〒104-0061 東京都中央区銀座二一四
 TEL/FAX 03-3541-1820

刀剣古美術

三峯美術店

町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一十六一
 西武秩父駅連絡通路町久ビル内
 TEL/FAX 0494-1333067

美術刀剣、小道具、武具類の
 売買、加工及び御相談承ります

大阪刀剣会 吉井唯夫

〒106-0031 大阪府大阪市中央区日本橋二丁目七番一
 電話 06(6631)2210
 FAX 06(6644)5464

登録証の内容変更に 簡素で迅速な手続きを望む

東京都文化財保護係を訪ね意見交換

銃砲刀剣類所持等取締法(いわゆる「銃刀法」)が施行されて六十二年がたちました(昭和二十五年の制定当時は銃砲刀剣類所持取締令。現行の銃刀法制定は昭和三十三年)。

現在、私たちが取り扱う刀剣類の中にも、当時のいかにも古そうな銃砲刀剣類登録証が付いているものがあります。

過去の記載内容が誤っていたり、不明確だったりする登録証の問題解決に時間がかかる中、中には名義変更を怠る人も出てくるのではないかと懸念しています。これまでに登録された刀剣類は二百数十万点と言われますが、この中に名義変更する際に登録証不備とされるものがある程度あるでしょう。見当もつきません。

このようなときの対処法を合理的に簡素化し、迅速な処理をしていただければ、美術刀剣の普及に有益であり、ひいては文化財保護に大きく役立ちます。

これは、警視庁や文化財保護係と当組合との連携によって、銃刀法の内容が組合員や愛刀家の皆さまに浸透してきている表れだと思えます。

この件については、専門性が問われるだけに総合的な判断が難しく、手続きも煩雑になりがちなところ。警視庁、教育

動の公務員として業務に携わっておられます。挨拶以上の会話は、一般の方から、審査員との間に癒着でもあるのではないかと誤解されかねません。また、仕事にも差し支えます。プライベートな話は極力控えてくださ

銃砲刀剣類所持等取締法(いわゆる「銃刀法」)が施行されて六十二年がたちました(昭和二十五年の制定当時は銃砲刀剣類所持取締令。現行の銃刀法制定は昭和三十三年)。

現在、私たちが取り扱う刀剣類の中にも、当時のいかにも古そうな銃砲刀剣類登録証が付いているものがあります。

過去の記載内容が誤っていたり、不明確だったりする登録証の問題解決に時間がかかる中、中には名義変更を怠る人も出てくるのではないかと懸念しています。これまでに登録された刀剣類は二百数十万点と言われますが、この中に名義変更する際に登録証不備とされるものがある程度あるでしょう。見当もつきません。

この件については、専門性が問われるだけに総合的な判断が難しく、手続きも煩雑になりがちなところ。警視庁、教育

これは、警視庁や文化財保護係と当組合との連携によって、銃刀法の内容が組合員や愛刀家の皆さまに浸透してきている表れだと思えます。

この件については、専門性が問われるだけに総合的な判断が難しく、手続きも煩雑になりがちなところ。警視庁、教育

動の公務員として業務に携わっておられます。挨拶以上の会話は、一般の方から、審査員との間に癒着でもあるのではないかと誤解されかねません。また、仕事にも差し支えます。プライベートな話は極力控えてくださ

銃砲刀剣類所持等取締法(いわゆる「銃刀法」)が施行されて六十二年がたちました(昭和二十五年の制定当時は銃砲刀剣類所持取締令。現行の銃刀法制定は昭和三十三年)。

現在、私たちが取り扱う刀剣類の中にも、当時のいかにも古そうな銃砲刀剣類登録証が付いているものがあります。

過去の記載内容が誤っていたり、不明確だったりする登録証の問題解決に時間がかかる中、中には名義変更を怠る人も出てくるのではないかと懸念しています。これまでに登録された刀剣類は二百数十万点と言われますが、この中に名義変更する際に登録証不備とされるものがある程度あるでしょう。見当もつきません。

この件については、専門性が問われるだけに総合的な判断が難しく、手続きも煩雑になりがちなところ。警視庁、教育

これは、警視庁や文化財保護係と当組合との連携によって、銃刀法の内容が組合員や愛刀家の皆さまに浸透してきている表れだと思えます。

この件については、専門性が問われるだけに総合的な判断が難しく、手続きも煩雑になりがちなところ。警視庁、教育

動の公務員として業務に携わっておられます。挨拶以上の会話は、一般の方から、審査員との間に癒着でもあるのではないかと誤解されかねません。また、仕事にも差し支えます。プライベートな話は極力控えてくださ

組合こよみ (平成24年4月~6月)

- 4月25日 第25回通常総会資料を送付。
25日『刀剣界』第5号最終校正。深海理事長・服部理事・土子民夫氏。
- 5月8日『刀剣界』入荷発送。
17日 東京美術倶楽部にて第25回通常総会を開催。出席81名、委任状74名。
17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加84名、出来高29,000,000円。
17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』編集委員会を開催。出席者、深海理事長・川島副理事長・服部理事・冥賀理事・綱取理事・持田監事・飯田慶雄氏・齋藤隆久氏・藤岡弘之氏・松本義行氏・生野正氏・新堀賀将氏・宮澤琢氏・大平将広氏・土子氏
- 18日 公益財団法人日本美術刀剣保存協会と公益財団法人日本刀文化振興協会の懇談会にオブザーバーとして組合より深海理事長・冥賀理事・服部理事が参加。
25日『刀剣界』第6号の暑中見舞い広告募集の案内を発送。
28日 登録審査業務の件につき、深海理事長・清水専務理事・嶋田理事・飯田理事が東京都文化財保護係を訪ね協議。
- 29日 長野県諏訪警察署よりの品触れを組合員・賛助会員にFAX通信。
- 6月4日 第24回「大刀剣市」出店申込案内を発送。
11日 深海理事長・清水専務理事が警視庁生活安全課を訪問。
17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加61名、出来高18,574,000円。
22日 紙パルプ会館にて『全刀商』編集委員会を開催。『刀剣界』暑中見舞い広告調整。出席者、深海理事長・清水専務理事・綱取理事・冥賀理事・持田監事・齋藤隆久氏・服部一隆氏・藤岡氏・松本氏・生野氏・宮澤氏・大平氏・土子氏。
27日 組合員証(メンバーズカード)・身分証明書(警察庁許可)の案内を発送。

盗品手配

5月に長野県諏訪警察署管内で刀剣などが盗まれる被害がありました。下記の品が持ち込まれたり、見聞きした場合には連絡をお願いします。

- 刀 (金象嵌銘) 兼光 (附)本阿弥光常折紙
長さ72.8cm 反り1.4cm 目釘穴2
登録証昭和26年3月19日・東京4377号 (特別重要刀剣)
- 刀 銘 伯耆守藤原汎隆
長さ2尺1寸 目釘穴2
- 刀 銘 備前国住人広則
長さ2尺3寸3分 目釘穴1
- 脇指 銘 豊後高田住藤原行光
長さ52.0cm 目釘穴2
- 刀掛け 金時絵 表あずまや 裏草花式

〈連絡先〉長野県諏訪警察署刑事課 (扱い・増澤健治) ☎0266(57)0110 内線332



風向計

其之乙

深海 信彦

刀剣業界の景気動向を観察し、それにタイムリーな解説を試みる目的で本欄は設けられた。今回も本来ならばこの第6号が発行される七月半ばから第7号発行予定の九月中旬までの二カ月のスパンで、刀剣界に吹く風の速さとして潮の流れを、一般経済の諸指標を参考に眺める予定であった。

ところが五月初旬の一名を皮切りに六月に相次いで三名、計四名の倒産が二カ月以内に表面化し、刀剣界は総額五億円(弁護士事務所からの通知による)合計金額。一般愛好家にも被害は及んでおり、実際はこれを上回ると予測される。以上を上回る被害を被った。しかもこのうちの三名は、組合員が投票で選んだ現職の理事である。

お知らせとお願い

■本紙購読について

『刀剣界』は隔月で発行しています。購読料は無料です。組合員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、組合員で必ず書面でお申し込みをお願いします。

■情報を募集しています

本紙は組合の機関紙であるとともに、紙名のように刀剣界を網羅し、斯界に役立つ情報紙であることを願っています。つきましては、広く情報をお寄せくださるようお願いいたします。イベント・レポート、催事情報をはじめ、ご覧になった新聞や雑誌記事、TV番組の

■お申し込み・お問い合わせ先

全国刀剣商業協同組合(全刀商)
〒169-0072 東京都新宿区大久保二二八二〇 新宿スカイプラザ一三〇二
TEL 03(3205)0601 FAX 03(3205)0089

期間に複数の支払い不能者が出たことはこの五十年間を見てもなく、業界は強風に煽られた上に、足元は激震に見舞われた感がある。

従来は支払い不能に陥った同業者に対しては、一部の多額債権者を除いては概して寛容で、業界を去った後までも鞭打つような言動は聞かれないのが常であった。それは第一に、長年の同業で取引もあり、親しく交わった時期もあった人が、何らかの事情で行き詰まったことを責めないという優しさ、諦めの気持ちのなせるものである。

第二は、多額の不払いが生じた交換会であっても、ほとんどは共同出資の会であり、一年間あるいはそれ以上の期間の歩金収入で穴埋めが可能となり、個人的には出費が伴わない場合が多いという点である。

第三に、支払いをせずに姿をくらました債務者を追及する時間も手立てもなく、債権者各自によっても事情が異なり、法的措置の取り方もわからないという実情が挙げられる。仮に相手にたどり着いても支払い能力はなく、徒勞に終わるよりは、自ら反省し明日からのさらなる努力によって取り返すという気持ちに切り替えざるを得ないというところであろう。

このような刀剣業界の甘い体質を突いて、今回の一連の不払い事件は引き起こされた。それも弁護士事務所からの突然の文書によって、債権者に通知があったのみである。

本欄は業界の景況を観測するのが使命ではあるが、これほど一度に同様の方法で支払い回避が続出する事態を迎えては、仮に景況感に上向きの兆しを感じられたとしても、それを筆にするのは債権者に対しても不謹慎であり失礼であろう。

商売に行き詰まって倒産を余

視点・論点

元岡古墳出土・銘文鉄刀は 曆使用の最古の事例か

銘鉄刀(兵庫県養父市)

国産以外ではほかに、東大寺山古墳「中平」鉄刀と石上神宮「七支刀」(いずれも奈良県天理市)の二点があり、それぞれ金象嵌で元号が添えられている。

ところが昨年九月、福岡市教育委員会が、三日月の紀年象嵌銘入り鉄製大刀の発表して以来、考古・歴史の分野では大きな話題となっている。

大刀は、九州大学の移転地である福岡市西区の元岡古墳群から出土した。長さ七五cm。エックス線撮影によると、棟の部分一三〜一四cmにわたって「大歳

儀なくされた者にも、それなりの事情はあろう。しかし巨額の債務を、弁護士からの通知のみで幕引きとする業界の体質が改められない以上、次にも同様の手口で事業を終わりにする者が続くかもしれない。

寛容と放置の繰り返しでは、業界の信用は揺らぐばかりである。一般の経済社会の法則に準

じて、肅々としかるべき手続きを執るべきであろう。屏風と商人は曲がらなくては立たない、という言葉は言い得て妙ではあるが、それはあくまでも下地が平らであることが大前提のことである。社会共通のコンプライアンスの上こそ屏風は立つのである。

わが国古墳時代の出土鉄刀・鉄刀のうち、これまで銘文象嵌のあるものは以下の五点、その中で紀年銘のあるものは二点とされてきた(〇印は千支入り)。

稲荷台一号墳「王賜」銘鉄劍(千葉県市原市)

江田船山古墳「獲〇〇〇〇〇〇大」

王「銀象嵌銘大刀(熊本県玉名郡和水町)

〇稲荷山古墳「獲加多支園大王金錯銘鉄劍(埼玉県行田市)

岡田山一号墳「各田部臣」銀象嵌銘鉄刀(鳥根県松江市)

〇箕谷二号墳「戊申年」銅象嵌

庚寅正月六日庚寅日時作刀凡十二果〇の十九文字が確認された(十九字目は不明)。

庚寅年の正月六日が庚寅日に当たるのは西暦五七〇年であるから、銘文の大意は「一五七〇年一月六日に刀を作った。およそ十二回錬り鍛えた」となる。

ところで『日本書紀』によれば、曆は五五四年に百濟から来た曆博士が伝えたという。専門家は、中国の宋時代に使用された元嘉曆とみている。従って本刀は、「具体的な年月日を書いた初めての国産刀剣の出土

であり、「曆を使用した最古の事例」「日本列島で元嘉曆を使用していた証拠」となる。

元岡遺跡からはかつて、日本の建元年号である「大宝元年」と記された木簡も出土している。これらから大和政権の支配の広がりを説き、さかのぼって邪馬台国と大和説の確信に結び向きもあるが、これは早計であらう。

元岡古墳群は、以前の弥生時代の奴国と伊都国の中間に位置し、水陸交通の要衝に当たる。古代の製鉄コンビナートの一層の解明が待たれる。

刀剣・小道具・甲冑武具
創業明治十三年
目白 飯田高遠堂
代表取締役 飯田慶久

営業時間 午前10時～午後6時
定休日 水曜・土曜(日曜営業中)
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03(3951)3312 FAX 03(3951)3615
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本
松本 富夫 義行

野田会(刀剣・刀装具)市場
毎月3日・19日開催

〒278-0043 千葉県野田市清水199-1
TEL 04-7122-1122 FAX 04-7122-1950
E-mail info@touken-matsumoto.jp
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.

(株)日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321 FAX 03-3434-4324

銀座 泰文堂

「刀剣画報」
実寸大通信販売カタログ
年6回発行 年間購読料4,000円

〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11 松崎煎餅ビル4階
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏
TEL 03-3563-2551 FAX 03-3563-2553
フリーダイヤル 0120-402037
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉

古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!

連絡先
090-8845-2222

60回までの低金利刀剣クレジットお取り扱い

〒114-0023 東京都北区滝野川7-16-6
電話 03-5394-1118 FAX 03-5394-1116
営業時間11時～19時 月曜日定休(祝日は営業)
代表者 高島吉童
www.premi.co.jp

刀 剣 界

私が出会った珍品 〈河童図鐔〉



縦75×横65

何とも面白い、河童を画題にした江戸時代の鐔です。古い時代の掛軸や絵巻物に幽霊画や地獄絵図の類を見ることがありますが、本作のように妖怪や幽霊

を武器のデザインとして用いた作品はきわめて稀であり、これらの現存作品はほぼ皆無であると言えます。私が本作に出会ったのは、五年ほど前。ご縁あって某武器コレクターから宝物として大切に

しているという河童図鐔を見せたいだくことになりました。私は一目見て、言い知れぬ感動を覚えました。帰ってから数日間、作を思い出すたびに欲しくなり、後日お願いしたところ、運良く譲っていただけました。鐔を手にして足取りも軽々、帰路に着いたことを思い出します。以来、この鐔の河童が可愛くて、日々眺めては楽しんでおります。

作品は、河童が左手にススキの枝を持って月夜の川原に立ち、手招きをしている様子を、鉄地に金銀象嵌彫りによって表しています。

河童という思い出すのが、某酒造メーカーのキャラクターのように愛嬌ある可愛いものです。ところが、本鐔の河童と見比べてください。江戸時代の河童は口が大きく、鋭い歯が光っています。目も大きく、怖いです。腕一面に鱗があります。足の指は四本。手の指数は確認できません。この姿ならば、誰が見ても立派な妖怪、まさに化物ですね。

古来より、日本各地には河童伝説なるものがあります。それらを研究していくと、この河童鐔は重要な資料となることでしょう。『刀剣界』を通して、全国の皆さまに江戸時代の河童さんをご紹介できましたこと嬉しく思います。

【解説・河童(こいつ)】
河童は、かつて北は青森から南は九州の鹿児島まで、全国に至るところの川に生息していたとされます。もともとは水神の使いであったものが、水神信仰が廃れて妖怪に化してしまったものとも言われています。

古来伝承される日本の妖怪の中で最も有名なものの一つで、その姿がひょうきん、ユーモラスであり、世代を超えた親しみ深さがあります。現在でも各地に河童信仰や河童伝説が数多く残っており、一面では「良くないもの」「不幸」を水中に引っ張り込んで、洗って福に変えてくれるとされ、そのおかげをもって「不幸退散」「幸福招来」がかなうと信じられています。ほかに商売繁盛・金運向上・水難防止・火災防止・縁結び・子授け・安産のご利益があるとも言われています。

（生野 正）

全刀商の活動紹介 〈共同宣伝部及び共同販売促進部〉 大刀剣市の実行委員会

俺の横顔に酒臭い誰かの息がかかった。隣のつり革につかまっているサラリーマンが、つままったまま眠りかかっていた。イラッとする。

一番奥の座席では、太った中年の男が赤い顔で視線を前に投

げている。その視線の先は向かいの席の、夜のお勤め帰りの肌のあらわなお姐さんで、既に頭のとっぺんから足の先まで弛緩させ切って眠っている。ハハァこれを見ていたのか。ムカツとする。

あーあ、俺もいつもだったらこの幸せな人々の一人のはずなのに。大刀剣市のカタログ編集で、どこかで一杯やったら終電に間に合わない時間まで、ノンアルコールだったんだよな。自分も呑んでいるなら他人の酔い様は気にならないのに、自分だけ素面だとなぜこれらが気になるのか、イラッとかムカツとかなるのか、不思議だ。

組合には経済・金融・総務の各委員会があるが、経済委員会の中の「共同宣伝部及び共同販売促進部」が若い組合員の力を借り、大刀剣市の仕事を担っている。組合事務局から委嘱状が届いたとき、われわれは感動に打ち震えるわけはなく、シヨックのあまりガクッと膝を折り、その場に崩れ落ちるのだ。何せ、それぞれが自分の仕事

刀剣商リレー訪問⑥

伊波賢一さん

かつての骨董通りに建つ老舗刀剣店

今回のリレー訪問で紹介するのは、東京都港区虎ノ門にあり、株式会社日本刀剣です。お店は桜田通りに面して虎ノ門三丁目の角地にあります。七階建てのビルです。でもとも目立ち、初めての方でもすぐにわかると思います。

日本刀剣は、明治創業の老舗です。現在は四代目である伊波賢一さんが平成十九年に代表取締役役に就任し、経営に当たっておられます。

お店にお伺いしたときは、日本のお客さまだけでなく海外からのお客さまも来店されており、大変お忙しい最中でした。それにもかかわらず、とても親切に取材に対応していただき、伊波社長の温厚な人柄に早速触れることができました。

創業は、曾祖父である初代が新富町の辺りで骨董店を営んだのが始まりでしたが、取り扱う商品を好きな刀剣に集約していくようになり、次第に刀剣を専門に取り扱うお店になったそう

を持ちながら集まるので、当然遅い時間となる。全員が一堂に会することはなくても、責任感の強い者が時間を割いて出向く。もちろん無報酬だが、皆の行動の原動力は個々の目先の利益でなく、業界全体の活性化という願いにほかならない。

暑くなり始めるころから商品撮影の段取りなど、もう始まるのだ。一昨年から委員会は、生

です。

関東大震災の後、現在の虎ノ門へ移り、そこで小さなお店を始めたそうです。昔は虎ノ門には多くの武家屋敷があったそうで、その後、このエリアには骨董店が多く並んでいたため、表の通りは「骨董通り」と呼ばれていたことがあるそうです。

現在の店舗はさまざまな縁もあり、時代とともに敷地を少しずつ拡張していき、昭和五十年に今のビルを建てたそうです。一階から三階までが展示スペースになっており、店内はとても広々としております。

商品は刀剣類から小道具類まで豊富な品数を展示していますので、いろいろな品物をご覧になりたい愛好家にとっては大変魅力的なお店です。訪問した日はちょうど名刀展示会の期間中で、二階の展示スペースには二十数振の刀剣と百点近い小

野正・宮沢琢といった新しい力を得ることができた。生野氏は印刷業界で活躍していた経緯を持ち、宮沢氏の集中力には驚かされる。また昨年は、松本義行という新たな視座を持つ人の力を借りることができた。もう一つ、東京美術倶楽部や東京貨物社との折衝に当たる理事たちの活躍もここに付け加えておく。残暑厳しいころには、ノンア

ルコールで遅い時間に電車に乗ることとなる編集・校正だ。これは委員なら一人残らず経験している。ワインを開けたとき、俺はその芳香に能書きを垂れることが多い。しかし、他人の体に入ったアルコールの匂いは、ただ臭いと感ずるだけだ。早く学芸大学駅に着かないかな。ひたすら夜の東横線の中で願う俺であった。

（綱取譲一）



日本刀剣と伊波賢一さん

若者広場

本阿彌 毅

御刀とお客さまの喜びをわが信条に

今日、世界経済が不安定の中、わが業界もさまざまな不安を抱えております。愛刀家の減少、そしてわれわれ研師におきましては、天然砥石が品薄である問題が懸念されております。

今は下地の途中まで補える人造砥もあり、一般に広く使用されているようですが、細名倉砥・内雲砥といった仕上げに重要な天然砥石の入手が困難になっております。

また、刀職希望者も減少している昨今であります。

私はまず一般の方々に御刀を知っていただくことが大事なことではないかと考えます。

私の場合、幼少期に時折、細工場に入ると、祖父や父たちが張り詰めた空気の中で無心に御刀と向き合っており、それを意味もわからず、自分もやってみたいなと思ひ、正座をしながら眺めていました。

また専門学校在学時、海外の留学生たちに出会った際に、彼

らが自国の文化と伝統に誇りをもち自国を愛する姿に接し、幼少期の思いが蘇ってきました。そして、日本の工芸品の保存にかかわりたいと思ひ、この世界に入るつもりになりました。

私の周りの友人・知人に、日本刀に関して尋ねてみると、実際に本物の刀を見てみたい、どこへ行けば見られるのか、と逆に聞かれます。そういった方々によく聞いてみると、それは決して名刀に限るわけではなく、武士の魂である日本刀の美物を見てみたいということのようです。多くの人に、御刀を実際に目で見て、触れて、肌で感じていただくことが大事であると思われまふ。

もお役に立てたらと思っており、またわれわれは、次代を担う若い刀職者が生き生きと希望と意欲を持って仕事に取り組める態勢を築いていくべく努力していきたいと思ひます。

修業時代、御刀を研ぐ際に師匠より常々言われてきたことは、大事な御刀をいかに減らさず後世に遺し伝えてゆくか、また初心を忘れず一振一振「実意・丁寧」な研磨をさせていただくことを常に心掛けよとも教えられてきました。

この地(富山市)に研ぎ場を構えるに至ったのは、立山連峰を臨む風光明媚な地で、思い描く研磨の仕事に打ち込んでみたかったと思ひからです。

今研師として思うことは、古刀から現代刀まで、所持しておられるその方にとってかけがえない御刀であり、その持ち味を十分に引き出し、御刀とお客さまに喜んでいただける研磨を心がけております。

諸先生方のアドバイスをいただきながら、一人でも多く愛刀家の増加、さらなる刀剣界の発展を願っております。

昨今の、コラボレーションした展示会などは一般の方々に少しでも御刀に興味を持っていただくには良い機会かと思ひます。それに携わっていらっしゃる職方の皆さまの活動には大変共感を覚えますとともに、自分

らも自国の文化と伝統に誇りをもち自国を愛する姿に接し、幼少期の思いが蘇ってきました。そして、日本の工芸品の保存にかかわりたいと思ひ、この世界に入るつもりになりました。



☆本阿彌毅さんは昭和五十年生まれの三十七歳。重要無形文化財保持者(人間国宝)故本阿彌日洲師を祖父とし、公益財団法人日本刀文化振興協会理事長でもある光洲氏の三男として生まれる。さかのぼれば、平井千葉・本阿彌琳雅の両名人は曾祖父に当たる。平成八年、東京ビジネス外語専門学校を卒業後、父に師事して研磨に従事する。「刀

剣研磨・外装技術発表会」で竹屋賞・寒山賞・日本美術刀剣保存協会会長賞・優秀賞、「新作日本刀・刀職技術展覧会」で金賞・銀賞などを受賞。十五年の修業を経て、平成二十三年、富山県にて独立開業した。

☆連絡先 〓〒939-8063 富山県富山市小杉二〇八一-〇七六四六一七一九五

刀剣・書画・骨董
多数取り揃え(正価表示)
ご来店をお待ち申し上げます。

和敬堂

(駐車場有り) 和敬堂
至小千谷 国道旧17号線 大手通りより700m 大寺通り 至新潟
三越タクシー 観音様 厚生会館 長岡駅

営業時間 AM9:00 ~ PM6:30
定休日 第1・第3日曜日
〒940-0088
新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
土肥 富作・土肥 豊久

<http://wakeidou.com/>

NEWS & TOPICS 照国神社の太刀、百三十四年ぶり帰る

明治十年(一八七七)の西南戦争で行方不明になっていた照国神社(鹿兒島市照国町)の太刀が、百三十四年ぶりに当地に帰ってきた。

刃長約七二cm、反り約二cm。銘文は、「正国六十三代孫波平住大和守平朝臣行安元治二年丑正月於京都鍛之」。金梨子地近衛牡丹紋散糸巻太刀拵が付されている。

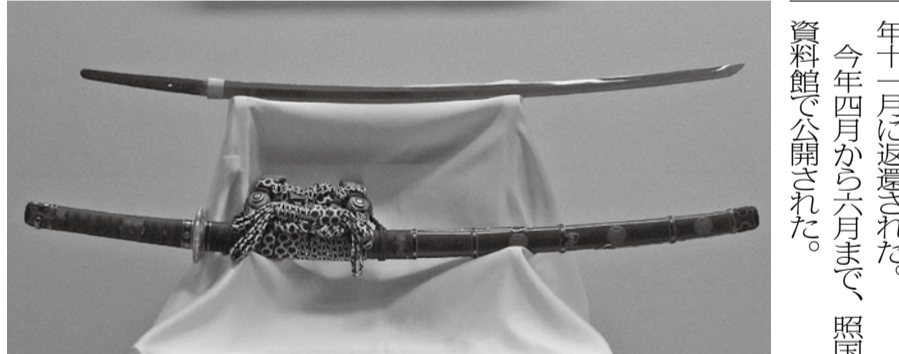
照国神社は幕末の薩摩藩主・島津斉彬をまつって、元治元年(一八六四)に創建された。島津家は「禁裏御用」で刀工を京に派遣しているが、今回返還された太刀は、波平行安が近衛家のために鍛え、後に近衛忠熙から照国神社に奉納されたと考えられる。忠熙は、篤姫を十四代将軍家定に嫁がせる際に養女とした人物でもある。

神社裏の城山は西南戦争最後の激戦地となり、照国神社も焼失した。太刀を含む宝物は近くの鶴嶺神社に移してあったため一時難は逃れたが、西郷隆盛目刃の直後、政府軍兵士が乱入し、略奪していったという。以来、宝物十数点の行方は杳として知らなかった。

本刀が発見されたのは、財団

法人日本美術刀剣保存協会。平成二十一年、同協会の収蔵庫から六百振余りの無登録刀が出てきたが、警視庁がこれらを押収して捜索した際、その中に「照国神社」と書かれた木札の付くものを発見、神社に文書で照会した。神社側では地元専門家によって調査したところ、近衛家の紋や銘文が決め手となり略奪品と判明、昨年十一月に返還された。

今年四月から六月まで、照国資料館で公開された。



刀職紹介

〔研師〕白木良彦さん



白木良彦さんは、昭和三十一年生まれの五十五歳。東京・深川で生まれ、五十年に都立墨田工業高校を卒業後、人間国宝・藤代松雄先生の内弟子として入門、十年間の修業を経て、六十年に独立されました。

その後も生まれ育った深川で研磨に励み、平成十三年には江東区無形文化財保持者に認定され、同十七年には日本美術刀剣保存協会の無鑑査に認められました。また、毎年行われる江東区主催の文化催事では刀研磨の実演を行うなど、刀剣の啓蒙活動に努めておられます。

白木さんは、刀研磨以外では古武術「双水執流・組討腰之廻」を教える清連館の館主を務めておられます。双水執流は、江戸初期に現在の福岡県直方市で完成した古武術です。組討とは、組んで討ちとるという意味で、柔術の古い形を示した素手で行う武術。腰之廻とは刀や脇指を用いて行う組討です。

白木さんは、同流に十一歳の時に入門。以来、古武術を通して、刀剣の歴史や文化、時代考証などを若い世代に継承されてきました。

白木さんは、とにかく刀を減らすに持ち味を引き出すという基本理念の下、研磨に臨まれています。

研磨代金は、状態により違いがありますが、通常は刀で三十万円が目安です。刀の状態により、予算の相談にも乗っていただけるとのことです。

連絡先 〓〒135-0045 東京都江東区古石場一-二七 〇三(三六四三)三三二二八

〔刀匠〕河内國平さん



河内國平(本名道雄)さんは、昭和十六年生まれ七十歳。十四代河内守国助の次男として大阪に生まれ、しかし、十四代はもう刀鍛冶としての仕事をほとんどしていなかったため、國平さんは刀鍛冶の家に生まれながら刀とは縁のない人生を歩んでいました。

関西大学在学中、一冊の本と出会います。「刀匠一代」というその本の中の「私は愛刀家や研究者が出るとは結構と思っていますが、せめて一人でもよい、将来を託せるような刀鍛冶が生まれてくれないかと、そればかり切に願ってやみません」という言葉に触発され、國平さんは昭和四十一年の大学卒業後、その本の著者、人間国宝・宮入昭平師(後に行平と改銘)に入門しました。

同四十七年に独立、以後新作刀展では師に教わった相州伝で高松宮賞をはじめとする特賞を六回受賞されました。

一見、順風満帆に見える國平さんの人生でしたが、自身の方向性に悩み、大きな壁にぶつかります。そんなとき、備前伝を得意とする人間国宝・隅谷正峯師と出会い、河内守国助家の家伝である備前伝を再興したいという思いから、五十九年に再入門。今度は、備前伝で日本美術刀剣保存協会会長賞と文化庁長官賞を連続受賞。六十三年に無鑑査に認定されました。

以後、本業の刀剣製作のかたわら、東京藝術大学や母校関西大学の非常勤講師を歴任、また恩師・末永雅雄博士の指導を受けて石上神宮の七支刀や藤ノ木古墳出土刀などの古代刀剣の復元、伊勢神宮御遷宮大刀・鉾などの製作を行ってこられました。

連絡先 〓〒633-2303 奈良県吉野郡東吉野村平野一-二五 〇七四六(四四)〇三三三 (川島貴敏)

同四十七年に独立、以後新作刀展では師に教わった相州伝で高松宮賞をはじめとする特賞を六回受賞されました。

一見、順風満帆に見える國平さんの人生でしたが、自身の方向性に悩み、大きな壁にぶつかります。そんなとき、備前伝を得意とする人間国宝・隅谷正峯師と出会い、河内守国助家の家伝である備前伝を再興したいという思いから、五十九年に再入門。今度は、備前伝で日本美術刀剣保存協会会長賞と文化庁長官賞を連続受賞。六十三年に無鑑査に認定されました。

以後、本業の刀剣製作のかたわら、東京藝術大学や母校関西大学の非常勤講師を歴任、また恩師・末永雅雄博士の指導を受けて石上神宮の七支刀や藤ノ木古墳出土刀などの古代刀剣の復元、伊勢神宮御遷宮大刀・鉾などの製作を行ってこられました。

連絡先 〓〒633-2303 奈良県吉野郡東吉野村平野一-二五 〇七四六(四四)〇三三三 (川島貴敏)

ブック・レビュー BOOK REVIEW

出奔説を否定、村田清風の招きによる長州行

『おれは清麿』

山本兼一著 本体一六〇〇円十税 祥伝社

直木賞受賞作家の「清麿」本である。

正行から清麿になるまで、着実に描かれている。信州の地で兄弟で製作した時期から、松代藩での鍛冶修業、そこから江戸の窪田清音のところへ行き、さまざまな刀を鑑賞し、志津兼氏の覇気を最上のもので感じた話などなど、有名エピソードをこれでもかとばかりに詰め込んでいるのだが、小生が一番面白く読んだのは、長州萩城下へ行くシーンです。

きっかけは窪田清音の友人、萩藩の家老格・村田清風に招かれてのこと。萩城下では二王直清と仲良くなり、現地の鍛刀もうまくいくという話である。その後、碓西崖という絵描きに短刀を贈り、中心に「恭皇 西崖 碓先生 / 於長門 国 正行製」と銘を切っている。この短刀は現在、長州屋さんにあります。

萩城下の大操練の話も面白い。一年前から準備を進め、総勢三万五千人、まさに萩藩を総動員する大操練である。

正行もこの大操練に参加し、大筒・鉄砲を放つても、兵が最後に頼みにするのは腰の刀。刀鍛冶として生き

る意味をひりひり感じるのであるが、その後村田清風に鉄砲を鍛えてくれと頼まれ、当然のことながらこれを断り、長州を出るようになる。

この長州行きについては、今までの正行が江戸を逃げ出し、長州に行ったのだという説と違って、清音に許しを得て、というよりも清音の勧めで行ったことになっており、今回は一段と興味深かった。

その後、江戸に戻り、清麿と改銘し、刀鍛冶として成功する



わけだが、そんなことより、やはり修業時代が本書のメインテーマになる。

「マであり、読みどころである。しかしながら、小生は清麿本として、併せて隆慶一朗著『鬼麿斬人剣』を読んでほしい。(持田眞宏)

「日刀保たたら」初めての本格的写真集

『たたら写真集』

岩田めぐみ著 三五〇〇円十税 冬春社出版

石川県金沢市生まれの若き女性写真家、岩田めぐみさんが奥出雲へ赴き、平成二十年から五年という長きにわたって取材し、作り上げた一冊である。皆さんは日本刀に不可欠な玉鋼をご存じだろうか。

科学をもって作り得ない、世界に誇る、日本の伝統である



ありながら千年以上前の「たたら製鉄」の現場へタイムスリップし、自分がそこにいるような臨場感や炎の迫力を感じ取ることが出来る。

日本刀。「折れず、曲がらず、切れ味も鋭い」と言われる秘密の一つが玉鋼である。それを生み出した「たたら製鉄」には、職人たちの技術と日本魂が存在する。それを今に伝えるのが唯一、「日刀保たたら」である。

この写真集はすべてモノクロ(白黒)であり、近年の写真で

「伝統の技を写真で伝えたい」。説明文がほとんど省かれているのは、「百聞は一見にしかず」という作者からのメッセージではないだろうか。荒れ狂う炎に動じることなく立ち向かい、最高の玉鋼を作ろうとする男たちの姿に、僕は素直に感動した。この写真集は、なかなか現地を訪れることができない人にも伝えられるよう、操業工程のすべてに写真とわかりやすい説明が付されている。また、すべて英訳されているので、日本刀と日本文化の奥深さを知ってもらうために、多くの方に勧めてほしい一冊です。(新堀賢将)

一葉の記憶

『刀剣界昔話』

盛況下、自由な気風横溢の京橋会

京橋会は、昭和二十九年に発足。京橋の町会事務所を会場として、毎月十一日に市が開かれていた。交換会の行われる、舞台のある大広間は、当時としてなかなか立派であり、普段は踊りや音曲の稽古に使用されていた。服部榮一氏の経営する長會彌旅館が近くにあり、遠方からの業者には便利であった。

前回に取り上げた刀剣会社の時代に比べ、わずかに数年後であるが、経済の復興には目覚ましいものがあり、刀剣・刀装具の売買は一段と盛況となる。掲出の写真の人々の明るい表情にも、当時の世相を見て取ることが出来る。

小松邦芳御大が眼を光らせていて、総じて規律が厳しく、市が終了するとすぐに散会する傾向があった。服部榮一氏を中心とする京橋会には、場所柄から「自由」の気風があり、市の終了後には歓談や「趣味の道」等々、業者同士の交流が盛んに行われている。



(女性を除く。前列左から) 鷺見重信、服部榮治(榮一)、山本理一郎、笹田傳次郎(伝治郎)、工藤勝衛、熊田眞久(慎之助)、平島直、大藪良辰、齋藤隆年(雅稔)、吉野辰雄、伊林子成、伊波富次郎(白水)
(後列左から) 永田幸男(清彦)、羽根田慶次郎、黒田政重、中宮峯二(敬堂)、加島勲(敬称略)

写真は昭和三十年、京橋会の岐阜旅行大会の際のスナップである。担当幹事は、東京四谷区傳馬町から岐阜市金町に住所を移した羽根田慶次郎氏である。大変に楽しそうな有様がうかがえる。
※右記は、齋藤隆年(雅稔)への取材によるものです。次回は寿祿会(全刀会)の第一回大会を取り上げることになります。(齋藤隆久)

イベント・レポート

新作名刀展

日刀保「新作名刀展」授賞式が開催される

五月二十九日、公益財団法人日本美術刀剣保存協会四階講堂



特賞受賞者。左から羽川安穂・松葉一路・故杉田昭二(代理)の各氏

において、平成二十四年「新作名刀展」の授賞式が行われました。本展覧会は、現代作家の製作した現代刀がいかにも魅力を持ち、後世への遺産としての価値を内包しているかといった情報発信の場とも言えます。

今回は、無鑑査十三点を含めて五十点の出品がありました。審査の結果、最高賞の日本美術刀剣保存協会会長賞には、作刀で宮崎県の松葉一路(國正)さん、彫金で宮城県の羽川安穂(左一光)さんがそれぞれ受賞されました。

からは、「刀剣界を取り巻く昨今の厳しい環境下、刀職者への協力は惜しまないので、さらなる技術向上に向けて努力をお願いしたい」と挨拶がありました。受賞者を代表して松葉刀匠からは、「日本刀の技と心を次の世代に伝えていくことが困難になりつつある中、右にしがみついていても初志を全うする覚悟であるので、一層のご理解、ご助力をお願いしたい」と答辞が述べられました。

- △太刀・刀・脇指・薙刀・槍の部
 - ▽日本美術刀剣保存協会会長賞 松葉一路
 - ▽薫山賞 杉田昭二
 - ▽優秀賞 小宮治氣 北川哲士 高見一良
 - ▽努力賞 森國利文 杉山俊雄 渡辺徹
 - △小脇指・短刀・剣の部
 - ▽優秀賞 加藤政也
 - ▽努力賞 新保基治 高橋祐哉 伊藤重光
 - △刀身彫の部
 - ▽努力賞 片山恒 上林勇二
 - △彫金の部
 - ▽日本美術刀剣保存協会会長賞 羽川安穂

- ▽優秀賞 宇津木光良 川島義之 柳川清次
 - ▽努力賞 福與裕毅 山口岩根
- 新作名刀展は刀剣博物館での展覧を終え、六月三十日(土)〜七月十六日(月・祝)川越市博物館(埼玉県川越市)で、七月二十一日(土)〜八月九日(木)致道博物館(山形県鶴岡市)で開催されます。
- (松本義行)



「まぼろしの国宝、ニッポンに帰る」と題して、「ポストン美術館 日本美術の至宝展」が三月二十日から六月十日まで、東京国立博物館平成館において開催されました。

ポストン美術館には日本美術の収蔵作品が十萬点を超えると言われ、その中から選りすぐった九十二点が今回展示されたものです。中でも話題になったもの一つに、「平治物語絵巻」三条殿夜討巻が挙げられます。この絵巻は、平安後期の平治元年(一一五九)に起こった平治の乱を鎌倉時代に詞書と色彩豊かな絵画によって描いたもので、特にこの巻は日本絵画史上最も迫力ある合戦絵巻と言われ、三条殿の急襲と後白河上皇の拉致を見事に表現しています。

新作日本刀展覧会

刀文協「新作日本刀展覧会」授賞式が開催される

第三回「新作日本刀 研磨外装刀職技術展覧会」の授賞式が六月九日、ホテルオークラ東京で開催された。

三笠宮殿下のご冥福を祈る黙祷で厳かに始まった式典は、徐々に熱気に包まれていった。東京二期会・大塚幸子さんの



経済産業大臣賞を受賞する明珍裕介氏

「君が代」斉唱の後、本阿彌光洲理事長の挨拶があり、続いて来賓より祝辞が述べられた。鹿野道彦・鈴木寛両国会議員からは、日本刀の作家・職方に対する熱い期待が語られ、刀剣を生業とするわれわれ刀剣商も仕事への熱意を再燃させてくれるものだった。

続いて宮入小左衛門行平専務理事から今回の展覧会の経過報告があり、出品総数は九十二点、受賞数四十二点と発表された。その後、表彰が始まった。この業界の未来を担う刀職たちが今回優秀な成績を収め、次々に壇上に呼ばれると、皆誇らしげであった。その姿を見ている方も、不思議と誇らしい気持ち

- に覆われたものだ。閉式の辞では、河端照孝特別顧問より審査制度について公平・公正さをどのように守ったかの説明もあった。最後に、倉持正理事による万歳三唱が行われ授賞式は盛大に幕を閉じた。受賞者は次の通り。
- △金賞 倉島一 小野敬博 相良雄一
- ▽銀賞 玉置城二 正海裕人
- ▽銅賞 小川和比古 藤代龍哉
- 本阿彌毅 関山和進 森井鐵太郎 水田吉政 正海郁雄 小宮光敏 藤川二朗
- △刀装具
 - ▽金賞 長嶺雅臣 福與裕毅
 - フォード・ハラム
 - ▽銀賞 川島義之
 - ▽銅賞 長内勝義 宮園士朗
- △白銀
 - ▽金賞 平田実
 - ▽銀賞 中田晃司
 - 神谷賢一
- △白鞘
 - ▽金賞 森隆浩
 - ▽銀賞 森井敦央
- △鞘塗り
 - ▽銅賞 古川和幸

- ▽金賞 岸野輝仁
- ▽銀賞 小山光秀
- △柄巻き
 - ▽銅賞 平井重治 熊倉純子
- △拵
 - ▽日本刀文化振興協会会長賞 森隆浩

なお、「新作日本刀 研磨外装刀職技術展覧会」悠久の美を求めては、大倉集古館(東京都港区)で七月二十二日(日)まで開催されている。(宮澤 琢)



東京国立博物館

「ポストン美術館展」を見学して

「まぼろしの国宝、ニッポンに帰る」と題して、「ポストン美術館 日本美術の至宝展」が三月二十日から六月十日まで、東京国立博物館平成館において開催されました。

絵巻ではもう一点、「吉備大臣入唐絵巻」が展示されています。大正十一年(一九二二)のこの絵巻が国外に流出したことが問題となり、古美術品の海外流出を防止する法整備のきっかけとなった名品でもあります。

ポストン美術館には日本美術の収蔵作品が十萬点を超えると言われ、その中から選りすぐった九十二点が今回展示されたものです。中でも話題になったもの一つに、「平治物語絵巻」三条殿夜討巻が挙げられます。この絵巻は、平安後期の平治元年(一一五九)に起こった平治の乱を鎌倉時代に詞書と色彩豊かな絵画によって描いたもので、特にこの巻は日本絵画史上最も迫力ある合戦絵巻と言われ、三条殿の急襲と後白河上皇の拉致を見事に表現しています。

そのほか、仏教美術では奈良・平安期の仏画、江戸期の絵画では長谷川等伯・尾形光琳・伊藤若冲らの屏風、中でも會我蕭白のものは十一点が展示され、見応えがありました。今回の展覧会には東京会場のみで五十万人を超える方たちが訪れており、いかに人気が高く、充実した展覧会であったかを物語っています。

特にこの当時は、主力武器は弓矢であり、また長巻が非常に多く描かれていたこと、下級武士たちは太刀でなく刀を差していたことなどが描かれており、参考になりました。ともあれ、この絵巻はまさに国宝に匹敵する名品であります。

なお、今後は、名古屋ポストン美術館にて前期六月二十三日〜九月二十九日、十二月九日、九州国立博物館にて平成二十五年一月一日〜三月十七日、大阪市立博物館にて四月二日〜六月十六日にそれぞれ開催されます。是非とも見学されることをお勧めします。

(冥賀吉也)

重要無形文化財保持者・天田昭次師の近況を報じる『新潟日報』平成24年5月1日の記事

日本刀文化振興協会

「北海道における日本刀の保存・活用…」三年度事業始まる

公益財団法人日本刀文化振興協会では平成二十二年度から文化庁の補助事業「北海道における日本刀の保存・活用と伝統文化活性化事業」を実施しているが、六月十八日、三年度事業を開始した。

これは、昨年度実施した調査事業によって、修理の必要があると考えられた亀田郡七飯町所蔵刀剣類の修理完了を機会に講習会を開催したもの。

七飯町歴史館を会場に、近隣の北斗市・八雲町・江差町および七飯町から各施設の学芸員六名が参加した。講師を務める当

協会展務理事・宮入小左右衛門行平から、今回の刀剣類修理の概要とその費用について説明した後、展示に使う刀掛けの組み立て、展示解説の作成、照明の当て方などを実習を交えながら研修した。

短時間の講習ではあったが、現場の実務に即し、大変充実した内容だった、との感想が参加者から寄せられた。

本事業では今後二回程度、学芸員講座や地域の方々への刀剣講座などを予定している。北海道において日本刀が大切にされ、日本刀の文化が継承されていく気運を高めるためにも、当協会ではできる限りのサポートをしていきたい。

本部鑑定会

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 本部鑑定会

また、重要美術品の則重や大左、来国光の名刀ばかりそろえていただき、併せて大変勉強になりました。

鑑定会は、

- 一号刀 短刀 左
- 二号刀 太刀 来国行
- 三号刀 太刀 畠田守家
- 四号刀 脇指 繁慶
- 五号刀 太刀 龍門延吉

でした。鑑定入札終了後、久保講師から講評があり、一振ずつ丁寧に見どころや特徴を説明していただきました。

左文字の特徴的な帽子や、繁慶の肌など、初見で鑑定できるものもあれば、ほとんどの参加者が頭を抱えた龍門延吉の難題



久保講師の講評に耳を傾ける

究極追い求め 「まだ道半ば」

鍛錬に専心し70年余

天田さんは12歳で刀鍛冶の道に足を踏み入れた。以来70年余、材料の鉄にこだわり、自家製鉄に取り組んでいる。目指すのは鎌倉、南北朝時代の古名刀だ。「刀はどうかあられはならないか」と答えが凝縮されている。寝ても覚めてもそこに近づくとばかり考えている」という。

少しでも近づけたかという問いには「その答えは自分では出せない」と語り「きりがいい。でも苦しいではなく、楽しい」と笑う。

伊勢神宮(三重県伊勢市)では2013年

まで、社殿を20年ごとに造り替えて神々を移す「式年遷宮」が行われている。人間国宝の責務として、昨年まで1直刀や矛などを取め「日本の伝統を背負っている」という責任を感じると充実した表情をみせる。

昨秋、4人目となる最後の弟子が独り立ちした。「弟子たちには身をもって刀匠としての『生きさま』を伝えてきたつもりだと自負する。

1日からの企画展は、「堀部安兵衛生誕地まつり」の一環。新発田城の復元を記念して天田さんが制作した太刀など並んで、新発田藩士の家に生まれた安兵衛の脇差などが展示される。「いずれの刀も新発田藩でつなごう」と、日本刀の美しさに興味を持つ人が増えることを願っている。

きょうから 新発田で企画展

「刀匠天田昭次の銘刀と安兵衛ゆかりの品々展」は31日まで。13日午後5時から日本美術刀剣保存協会新潟支部長による記念講演会も行われる。問い合わせは市観光振興課、0254-(22)3101。また10日市稲葉の「星と森の詩美術館」でも6月3日まで「刀匠天田昭次展」が開かれ、中越地震復興祈念の剣などを展示している。問い合わせは同館、025(753)7202。

人間国宝15周年 刀匠・天田さん



刀の仕上がり具合を見る天田昭次さん。「体に別段戸惑いはない」と心技体に自信を示す新発田市月岡温泉の自宅

天田 昭次(あまた・あきつぐ、本名天田誠一) 1927年、新発田市(旧豊浦町)出身。40年に日本刀鍛錬伝習所へ入門。敗戦後に刀の製造禁止令により帰郷するが、52年に講和記念刀を制作し再開。59年から自家製鉄に取り組み、77年、85年、96年の3度「正宗賞」を獲得。全日本刀匠会理事長など要職を歴任。97年に重要無形文化財保持者(人間国宝)認定。新発田市月岡温泉。84歳。

は、奇しくも終焉の場所にもなりました。最後の将軍・徳川慶喜は、この城で大政奉還の決意を発表したのです。

「古都京都の文化財」として、世界遺産にも登録されている二条城とその歴史が、狩野派による二の丸御殿障壁画など約100件の展示で体感できます。

7月28日(土)～9月23日(日)。

(持田具宏)

点ではなく、朝廷を敬いつつ掌握するという、幕府が持つ力を目に見えるものにする場所でした。

3代将軍家光が後水尾天皇を迎えた壮大なイベント、二条城行幸。寛永3年(1626)の実施に向け、城は現在の大きさに拡張され、障壁画も狩野探幽らによって描かれました。その姿は約400年の時を超え、ほぼそのままの形で伝えられています。

徳川幕府の幕開けを告げた空間

奈良国立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町50番地 ☎NTTハローダイヤル050(5542)8600

頼朝と重源 一東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆

治承4年(1180)の南都焼き討ちにより、東大寺は伽藍の大半を失うとともに、日本仏法の象徴たる盧舎那大仏にも甚大な被害が及びました。この未曾有の法難に際し、仏法を再生すべく大勸進として再興事業を指揮したのが、俊乗房です。重源は後白河法皇の支援の下、大仏の鑄造や大仏殿の建立などを次々に成し遂げますが、建久3年(1192)に法皇が崩すと、その後を受けた源頼朝が最大の擁護者となります。頼朝は、資金や物資の調達のみならず、大仏殿安置の巨像群の造立を御家人に分担させるなど、まさに「」と称されるにふさわしい活躍で、この大

事業を支えました。

本展では、運慶・快慶らによって生み出された新時代の幕開けを象徴する仏像の数々や、重源の思想が色濃く反映された宝物、再興の経過や当時の時代の空気を伝える品々を一堂に集め、また大勸進を引き継いだ米西・行勇の活躍にも光を当てることで、半世紀余りに及ぶ再興の軌跡をたどります。

なお、刀剣では頼朝の佩用と伝える国宝・沃懸地杏葉螺鈿太刀(鶴岡八幡宮蔵)が展示されます。

会期は7月21日(土)～9月17日(月・祝)。



の一振もありました。

「刀剣美術」の表紙にも国宝の龍門延吉の刀装が掲載されており、また今年には辰年でもあり、久保講師が本部鑑定会では初めて鑑定刀に選ばれたそうです。講評後も会員それぞれの質問に気さくに対応していただき、大変和やかな鑑定会でした。

(新堀賢将)

催事情報

■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869(66)7767

エヴァンゲリオンと日本刀展

エヴァンゲリオンとは、人気テレビアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」に登場する架空の兵器。正式名称は「汎用人型決戦兵器人造人間エヴァンゲリオン」である。エヴァもしくはEVAが略称。



長船刀剣博物館は日本刀のさまざまな展示会で知られるが、この度は「若い世代の人にも日本刀の魅力を知ってほしい」と、エヴァンゲリオンとのコラボレーションを企画、「新世紀エヴァンゲリオン」の武器をモデルにした日本刀を展示する。

展示内容は、「エヴァンゲリオン紹介」「日本刀の匠が表現するエヴァンゲリオン仕様の御刀たち」「古き名品からみる日本刀のものづくり」などで、会期中はこのほか各種イベントも開催される。

会期は7月14日(土)～9月17日(月・祝)で無休。

展示作品のうち、テレビアニメ版でヒロインの綾波レイが戦闘に使うなど、ストーリーの中で重要な役割を果たす「ロンギヌスの槍」は、広島県無形文化財保持者の刀匠・三上貞直さんが製作した。

長さ3メートルを超える本作は、通常の槍をイメージして訪れる人々の度肝を抜くかもしれない。

■瀬戸内市立美術館

〒701-4392 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4911 ☎0869(34)3130

瀬戸内市立美術館公募展「日本刀」

瀬戸内市は多くの芸術家を生んだ創作の地であり、また日本刀のメッカ・備前長船を擁する。瀬戸内市立美術館公募展は、あらためて新しい世代の創作や芸術を見だし、育てていくために立ち上げたという。

今回は「刀剣の里備前長船」にちなみ、伝統的美術工芸品である日本刀、または日本刀に関連するモノをテーマにした絵画・イラスト・造形

物を広く募集(応募期間終了)、作品は審査の上、7月25日(水)～9月9日(日)同館にて展示する。

全日本刀匠会との共催。

一朝一夕の効果に過大な期待は禁物だが、このような試みは、日本刀の可能性を広げ、意外な魅力を創出し、技や素材を駆使した新商品を生み出すきっかけになるかもしれない。

■中鉢美術館

〒989-6433 宮城県大崎市岩出山上川原町7-6 ☎0229(29)9833

大震災から救われた伝家の宝刀展

常設の奥州古鍛冶とそれにかかわる諸国の作品を中心に、昨年の大震災から救われ、被災者それぞれの思いで当館に託された伝家の宝刀を公開する。

会期5月27日(日)～12月28日(金)。展示品の入れ替えあり。

〈主な展示作品〉

- ・太刀 包平(古備前)
・太刀 貞綱、有綱(古伯耆)
・太刀 行平
・太刀 舞草

- ・短刀 国吉(粟田口)
・長巻直し(一文字)
・短刀 兼光(長船初代)
・短刀 守弘(小反)
・小鳥造(手掻)

- ・刀 月山
・刀 祐定
・刀 綱広
・短刀 宮入行平・将平
・太刀 上林恒平
・太刀 山口清房 ほか

■佐野美術館

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-48 ☎055(975)7278

日本刀の匠たち—私の最高傑作

第3回「日本刀の匠たち—私の最高傑作」は、たくみ会との共催で夏休み期間の7月27日(金)～8月26日(日)に開催されます。日本刀の技を継承し、新たな創造の世界へと精進する刀工と、それに携わる職方41名の“最高傑作”が紹介されます。

また今回は特別展示として、昨年逝去された刀身彫刻・苔口仙秀師の凛とした気品あふれる作品を見ることが出来ます。

併せて、鋼作り・鍛錬・小刀焼入れなどの日本刀製作工程や、研ぎ・鞘作り・刀身彫刻などの仕事を、見学・体験できる下記の講座も開催されます。

出品作家は次の方々です。〈刀工〉赤松伸咲・安藤広康・石田四郎國壽・伊藤重光・江住有俊・大



野義光・尾川兼圀・尾川兼國・月山貞伸・加藤慎平・川崎晶平・川島一城・河内一平・木村兼光・工藤将成・久保善博・佐々木胤成・下島房宙・宗勉・宗昌親・高橋恒敏・高見太郎國一・田中貞徳・田中貞豊・廣木弘邦・堀井胤匡・松川清直・真鍋純平・二代源正光・宮入小左衛門行平・明珍宗裕・吉田康隆

〈職方〉柏木重光(刀身彫刻)・片山重恒(刀身彫刻)・飯山捲仙(柄巻師)・野口沙耶(白銀師)・廣井章久(鞘師)・泉公士郎(彫金師)・川島義之(彫金師)・福興裕毅(彫金師)・柳川清次(彫金師)

- たたら製鉄 7月28日(土) 講師/伊藤重光
○日本刀鍛錬 7月29日(日) 講師/廣木弘邦・伊藤重光・田中貞徳・工藤将成・吉田康隆・高橋恒敏
○職方公開製作～日本刀を彩る職人たち 7月29日(日) 講師/藤代龍哉・森井敦央・片山重恒・野口沙耶・熊倉純子
○小刀の焼入れに挑戦 8月4日(土) 参加費35,000円 講師/石田四郎國壽・吉田康隆・高橋恒敏
○五寸釘でナイフを作ってみよう 8月11日(土) 参加費1,500円 講師/根津啓・上山陽三
○日本刀を持ってみよう 8月18日(土)・19日(日) 参加費3,000円 講師/渡邊妙子
○日本刀の手入れ講座 8月25日(土) 講師/渡邊妙子 (大平将広)

■江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 ☎03(3626)9974(代表)

二条城展

京都と言えば、修学旅行や観光旅行で必ず行くことになっている二条

城。そこは、慶長8年(1603)に徳川家康が築き上げた、戦のための拠



→8ページへ

■特定非営利活動法人日本刀剣保存会

〒141-0021 東京都品川区上大崎1-23-1 セザール池田山1階 永楽堂内 ☎03(5424)0543

この度は私たちの特定非営利活動法人日本刀剣保存会(NTHK)の主な活動についてご説明する機会をいただき、ありがとうございます。

私たちの法人は、世界的な文化遺産である日本刀剣類の保存・研究に関する事業を行い、また世界に日本刀剣文化の普及啓蒙を図る事業を行うことで、日本刀剣の後世への継承と日本文化の理解・振興に寄与することを目的にしております。

年11回、刀剣・刀装具審査を開催しています。昨年10月には、理事長の宮野貞司氏、専務理事の大橋博氏、理事の中村ニック昇氏、理事のクリス・ポーエン氏、米国中部代表のラリー・クラン氏の協力により、ミネソタ州ミネアポリスにおいて主要な日本国際文化祭事業を開催し、ア

メリカの皆さまに大変喜ばれ大成功しました。

日本刀剣保存会は高瀬羽幸先師によって創立された歴史ある会ですが、私たちは平成12年1月、山崎昭氏、江口綜曠氏を発起人として設立、平成14年9月に東京都より特定非営利活動法人(NPO法人)に認定されました。また、機関誌『刀剣と歴史』は明治43年(1910)発刊ですが、私たちは636号から独自に発行し、現在で705号を重ねます(奇数月の晦日発行)。

『刀剣と歴史』の誌上鑑定は、メールアドレスinfo@hozonkai.jpでアクセスしていただくか、公式ホームページhttp://hozonkai.jp/の「HP入札鑑定」コーナーで直接参加することもできます。

普通会員の年会費8,000円です。

刀 劍 界

平成24年7月15日発行(隔月刊)

平成24年(2012)盛夏 暑中お見舞い申し上げます

日本刀・武器・武具 (有) 刀剣はたや
 代表取締役 **籓谷 三男**
 東京都町田市原町田3-14-14
 TEL 042-1729-2002
 FAX 042-1721-6080
 URL <http://www.toukenhataya.jp>

飯田 高遠堂
飯田 慶久・慶雄
 東京都新宿区下落合3-17-33
 TEL 03-3951-3312

刀剣古銭・切手・古美術品(売買)
 (株) 城南堂古美術店
 代表 **田中 勝憲**
 東京都目黒区上目黒4-31-10
 TEL 090-33208-9612

古美術 飯塚
飯塚 賢路
 〒337-0015
 さいたま市見沼区蓮沼1004-11
 TEL 048-688-2001
 FAX 048-688-2002

岡山県重要無形文化財 金工・刀身彫
柳村 仙寿
 岡山市北区平和町2-18
 TEL 086-2223-2319
 FAX 086-2223-2392

木村美術刀剣店
木村 義治
 群馬県高崎市萩原町484-110
 TEL 027-352-11590
 FAX 027-352-11591

刀剣古美術 宗亭庵
村中 亨
 富山県高岡市江尻1-235-13
 TEL 0766-28-2220
 FAX 0766-28-2217

研誠堂
石塚 孝夫
 〒113-0034
 東京都文京区湯島1-2-11
 TEL 080-5473-0055

日本美術刀剣保存協会 全国刀剣商業協同組合
 古美術刀剣 **後藤 一乘**
 〒462-0059
 名古屋市中区駒止町2-33-3
 TEL/FAX 052-916-2583

刀剣古美術 菅原商店
菅原 静夫
 東京都足立区東和4-5-13
 TEL 03-3605-5615

刀剣・中冑武具の専門情報紙
刀剣春秋
 東京都墨田区東向島1-17-12
 TEL/FAX 03-3613-1044

刀剣研磨 **池田 長正**
 〒243-0406
 神奈川県海老名市国分北2-12-14
 TEL 046-231-2535
 FAX 046-234-8123
 メール logibow@yahoo.co.jp

美術刀剣 **阿雲 亭**
笹原 俊和
 〒869-2612
 熊本県阿蘇市一の宮町宮地4527-1
 TEL 090-3078-4044

内曇砥・刃引き・地引き採掘元
 石原砥石工業所
 五代目 **石原 與五郎**
 京都市右京区嵯峨橋原清水町12
 TEL 0771-44-0523
 FAX 0771-44-0308
 URL <http://www.touken-matsumoto.jp>

(株) 日本刀剣
伊波 賢一
 〒105-0001
 東京都港区虎ノ門3-18-11
 TEL 03-3434-4321
 FAX 03-3434-4324

やしま
齋藤 雅稔
 東京都西東京市柳沢6-8-10
 TEL 042-463-5310
 FAX 042-463-7955

やしま
齋藤 隆久
 東京都西東京市柳沢6-8-10
 TEL 042-463-5310
 FAX 042-463-7955

刀剣小道具 中冑・売買・工作及相談承ります。
 株式会社 **むさし屋**
 代表取締役 **猿田 慎男**
 〒590-0025 大阪府堺市堺区向陵東町1-2-19
 TEL 072-251-8600
 FAX 072-257-2885
 URL <http://www.musashiya.co.jp>

株式会社 **真玄堂**
 〒101-0044
 東京都千代田区鍛冶町1-7-17
 TEL 03-3252-7844
 FAX 03-3251-1419

株式会社 **永和堂**
朝倉 万幸・忠史
 長野市南原町1-136
 TEL 026-228-0001

玉山名史刀・一文字刀剣会
玉山 祐司・真敏
 岡山市北区田町1-1-1
 TEL 086-227-4188

刀剣市場 野田会 毎月3日・19日開催
 株式会社 **美術刀剣松本**
松本 富夫・松本 義行
 千葉県野田市清水1-99-11
 TEL 04-772-1122
 FAX 04-772-1950
 メール info@touken-matsumoto.jp
 URL <http://www.touken-matsumoto.jp>

拵合せ致します
 日本刀鞘師 **水野 美行**
 〒160-0002 東京都新宿区坂町18
 TEL 03-3353-8810

刀工・奈良県無形文化財保持者
月山 貞利
 〒633-0073
 奈良県桜井市大字茅原228-8
 TEL/FAX 0744-43-7330

株式会社 **刀剣柴田**
 社長 **柴田 光隆**
 〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-18
 TEL 03-3573-2801
 FAX 03-3573-2804
 URL <http://www.toukenshibata.co.jp>
 (支店・東京駅丸の内線「刀剣コーナール」)

もちだ美術
持田 具宏
 さいたま市中央区上落合1-9-44
 TEL 048-855-4792

小澤刀剣
小澤 正晴
 栃木県小山市天神町2-8-54
 TEL 0285-30-5353

刀剣・小道具 **刀剣杉田**
 代表 **杉田 侑司**
 豊島区池袋2-49-5
 TEL 03-3980-1461

刀剣小道具 丸英美術刀剣店
瀬下 明・昌彦
 栃木県小山市乙女3-17-30
 TEL 0285-45-0158
 FAX 0285-45-8596
 URL <http://www.maruhidemouken.com>

札幌 **横山 美術**
横山 忠司
 北海道札幌市中央区南3条東1-6
 TEL 011-251-17652
 FAX 011-251-11788

刀剣ギヤラリー 樹林
森野 幸男
 〒803-0812
 北九州市小倉北区室町2-12-15
 TEL 093-561-0449

美術刀剣 **勝武堂**
大平 岳子
 東京都中野区本町4-45-10
 TEL/FAX 03-3338-13071
 URL <http://www.shoubudou.co.jp>

服部 美術店
 東京都中央区日本橋3-5-12・2F
 TEL 03-3274-5170

株式会社 **古美術刀友会**
山本 一郎
 〒033-0123
 青森県三沢市堀口17-244
 TEL 090-33361-9555

大阪刀剣会
吉井 唯夫
 大阪府中央区日本橋2-7-11
 TEL 06-6631-2210
 FAX 06-6644-5464

古美術・刀剣 **山城屋**
嶋田 伸夫
 東京都豊島区巣鴨1-21-8
 TEL 03-3942-2701
 FAX 03-6657-4221

美術刀剣専門店 **刀剣山城**
渡辺 行輝
 茨城県守谷市けやき台1-27-8
 TEL 0297-45-4760

赤荻 刀剣店
赤荻 稔
 茨城県下妻市下妻2-1-72
 TEL 029-6644-2643

浅草観音裏
 美術・骨董・書画・工芸・刀剣・鎧
 (株) **晴雅堂 清水**
 TEL/FAX 03-3842-3777

つるぎの屋
冥賀吉也・冥賀亮典
 東京都北区西ヶ原4-35-11
 TEL 03-3576-11753
 FAX 03-3576-8419

刀剣古美術 **平安堂**
水野 光幸
 東京都板橋区板橋1-22-10
 TEL 03-3964-1001

刀剣・書画・骨董 株式会社 **和敬堂**
土肥 豊久
 新潟県長岡市柏町1-2-16
 TEL 0258-33-8510
 FAX 0258-33-8511
 URL <http://www.wakeidou.com>

刀屋 藤岡 弘之
 〒277-0862
 千葉県市川市篠籠田1400-38
 シンブルライフ豊四季203号室
 TEL 090-8887-11604

銀座 **盛光堂**
齋藤 恒
 東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル
 TEL 03-3569-2251(代)
 URL <http://www.ginzaseichodo.com>

大東 美術
熊倉 勇
 板橋区高島平5-1-1
 TEL 03-3939-7331
 URL <http://www.11ten.ne.jp/~daitoujintu>

日本刀火鑪銃の専門店
 刀剣古美術 **誠友堂**
 代表取締役 **生野 正**
 東京都中央区銀座5-1-1 銀座ファイブ階
 TEL 03-3558-8868
 FAX 03-3558-8868
 メール touken@seyudo.com
 URL <http://www.touken-seiyudo.com>

新堀 美術 刀剣
新堀 孝道・徹・賀将
 横浜市旭区さちが丘2
 TEL 045-364-2893
 URL <http://www.10ocn.ne.jp/~sinbori>

銀座 長州屋
 東京都中央区銀座3-10-4
 TEL 03-3541-8371
 FAX 03-3541-8379
 URL <http://www.choshunya.co.jp>